

プロジェクトの活動概要

- ・SEA藻が活動主体となり、三重外湾漁業協同組合、南伊勢町、紀北町、三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所と協同で活動を実施。
- ・駆除活動は、一般ダイバー、三重大学ダイビングサークル、愛知県立三谷水産高等学校生等のボランティアダイバーが参加。



2022年7月9日撮影 白浦
プロジェクト実施状況
(駆除活動)

漁業者数名で操船及び乗船時の安全管理を担う。
SEA藻スタッフ数名でボランティアの現地への運搬、駆除中の安全管理を担う。
ボランティア15名前後がSCUBA潜水で駆除を行う。

《駆除活動以外の活動》



母藻の設置
(対象：
ガラモ)



海藻の
種苗投入
(対象：
アラメ、
カジメ)



2023年度認証のプロジェクト実施場所



プロジェクト実施者の位置付け

NPO法人SEA藻

主体として活動を実施
役割：モニタリング、データのとりまとめ
活動ボランティアの募集、現地への移動
駆除中の海中での参加者の安全管理、
潜水器材の手配、事務全般

南伊勢町 紀北町

役割：施設提供、過去の調査データ
提供、現状の情報提供

(ボランティア)

駆除活動への参加

鳥羽市水産研究所

役割：種苗の提供、各種情報の
提供

三重外湾漁協

役割：磯焼け場所の情報提供、
活動時の備船、安全管理

三重大学 藻類学研究室

役割：モニタリング手法、評価方法
等の指導、助言

三重県熊野灘における藻場再生・維持活動 活動報告



2023年度認証の活動内容（各地域の取り組み、プロジェクト対象期間の内容、認証量について）

（申請対象期間）

2022年5月29日～2023年5月28日

（申請対象期間の実施内容）

活動地域	SEA藻他によるプロジェクト開始年月	実施内容			再生した藻場面積 (ha)	ブルーカーボン量 (t-CO2/年)
		モニタリング	ウニ類の駆除活動	その他の活動		
宿浦	2015年4月	2023/2/13 2023/5/20	2022/6/18、8/11-12、 10/11 駆除総数 41,867個体		4.9691	14.224
白浦	2015年4月	2022/12/17 2023/5/28	2022/7/9、10/22 駆除総数 22,562個体	2023/1/13 海藻の種苗投入 (対象：アラメ、カジメ)	1.401015	2.829
島勝浦	2018年4月	2022/6/9 2022/8/29 2022/11/18 2023/2/27 2023/5/27	2022/6/25、7/16、 10/15 駆除総数 25.454個体	2022/6/16 母藻の設置 (対象：ガラモ) 2023/1/14 海藻の種苗投入 (対象：アラメ、カジメ)	2.04964	0.999
古和浦	2016年4月	2023/1/27 2023/3/29 2023/5/25	2022/10/1 駆除総数 15,926個体		1.42018	2.283
合計 (小数点第2位切捨て)					9.8	20.3

その他の地域の取り組みについて








2015年に2カ所で始めた活動は、2023年までに7カ所で活動。

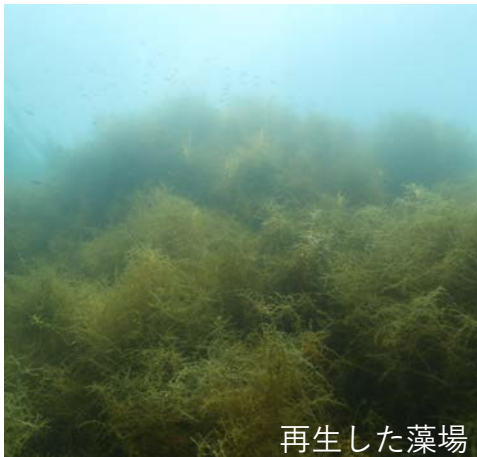
2015年4月～2023年5月の8年間で駆除したウニ類（ガンガゼ）：**1,236,661個体**

ダイバー＝密漁者と考える方もおり、活動にあたっては成果を伝え、漁業者との信頼関係を築くことに努めた。
→成果が出ることで、ダイバーでも受け入れてもらえるようになった。
→活動の理解が深まることで、更に活動が広がっている。



-  2015年～駆除している場所
南伊勢町宿浦、紀北町白浦
-  2016年～駆除している場所
南伊勢町古和浦
-  2018年～駆除している場所
南伊勢町神前浦、紀北町島勝浦
-  2019年～駆除している場所
紀北町海野
-  2022年～駆除している場所
紀北町引本浦

今後の活動計画



再生した藻場



アオリイカの卵



ガンガゼを食べるイセエビ



ガンガゼを食べるマダイ



再生した藻場近くのヒジキ



2022年5月28日撮影 白浦



2022年12月17日撮影 白浦

再生した海藻類にはアオリイカの卵が多数付いたり、ガンガゼ駆除活動の際には駆除したガンガゼをイセエビやマダイが食べている様子も見られたりしている。藻場が回復した地域では、隣接する磯焼け海域に比べて活動時に見られるイセエビやアワビの生息数が顕著に多く、漁場環境が改善していることもうかがえる。

その為、活動中の地域は今後も継続し、新たに希望する地域が活動できる体制を整え活動地域を拡大して熊野灘海域全体の藻場の増加に取り組みたい。

2023年6月～2024年2月に7地区（前述）で駆除したウニ類（ガンガゼ）：251,967個体（駆除回数：18回）

2024年5月に各地区のモニタリングを実施し、藻場の再生・維持状況を評価する予定。結果を基にJブルークレジットの申請も継続して行っていきたい。ウニ類（ガンガゼ）以外の要因（植食性魚類等）と考えられる磯焼けに対する対応策も試行していきたい。